

1 単元名 中世の日本「武士の台頭と鎌倉幕府」

2 目標

- 武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことに関心を持ち、意欲的に追究し、鎌倉時代の特色を捉えようとする。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- 武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まり、武家社会が発展していくという時代の流れや鎌倉時代の特色、農業など諸産業の発達、元寇が日本に与えた影響などについて、多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)
- 武士が台頭し武家政権が成立したことや武士や民衆の動き、元寇が日本に与えた影響、鎌倉文化に関することを絵図や文献など、様々な資料から読み取り、図表などにまとめることができる。 (資料活用の技能)
- 武士が台頭し武家政権が成立して、武士の支配がしだいに全国に広まり、武家政権が発展していったことや元寇が日本に与えた影響、鎌倉時代の新しい文化や仏教の特色について理解し、その知識を身に付けることができる。 (社会的事象についての知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 生徒の実態

<p>○ 奈良時代を捉える問題に関する実態調査 (平成*年*月*日実施 第1学年*組*人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を関連付けて奈良時代を説明している。 *人 <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・政治面や文化面などの様々な側面(複数の側面)と貴族や農民などの異なった立場(複数の立場)から捉えている。 *人 ・政治面や文化面などの様々な側面から捉えている。 *人 ・貴族や農民などの異なった立場から捉えている。 *人 ・一つの側面や一つの立場から捉えている。 *人 </td> </tr> </table> ・資料を関連付けて奈良時代を説明できない。 *人 <p>○ 小学校での歴史学習から、鎌倉時代はどのような時代だと思いますか。 (平成*年*月*日実施 第1学年*組*人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武士が中心の時代 *人 ・源頼朝(源氏)が活躍した時代 *人 ・天皇中心の時代 *人 ・無解答 *人 ・鎌倉幕府の時代 *人 ・戦争が多い時代 *人 	<ul style="list-style-type: none"> ・政治面や文化面などの様々な側面(複数の側面)と貴族や農民などの異なった立場(複数の立場)から捉えている。 *人 ・政治面や文化面などの様々な側面から捉えている。 *人 ・貴族や農民などの異なった立場から捉えている。 *人 ・一つの側面や一つの立場から捉えている。 *人
<ul style="list-style-type: none"> ・政治面や文化面などの様々な側面(複数の側面)と貴族や農民などの異なった立場(複数の立場)から捉えている。 *人 ・政治面や文化面などの様々な側面から捉えている。 *人 ・貴族や農民などの異なった立場から捉えている。 *人 ・一つの側面や一つの立場から捉えている。 *人 	

*人の生徒が資料を関連付けて奈良時代を説明していたが、内容を分析すると、複数の側面と異なった立場から多面的・多角的に奈良時代を捉えることができた生徒は*人のみであり、複数資料から必要な情報を読み取り、歴史的事象を多面的・多角的に考察することに課題があることが判明した。また、小学校での歴史学習の経験から、鎌倉時代とは、鎌倉幕府が開かれ、武士が中心の時代であることを多くの生徒が理解している。

(2) 教材観

本単元は、学習指導要領の歴史的分野の内容(3)中世の日本の前半部分にあたり、武士の登場から武士の台頭、鎌倉幕府に始まる武家政権の成立と武家社会のその後の展開、農業技術や手工業・商業の発達、民衆の活力を背景とした鎌倉文化を扱っている。武士の活躍によって古代の天皇や貴族を中心とした政治体制から、武士を中心とした中世社会に移行するという歴史的に大きな転換期を扱う単元である。

(3) 指導観

小学校での歴史学習から生徒たちは、鎌倉時代を武士の時代であるというイメージをもっている。そこで、本単元では「鎌倉時代はどのような時代なのだろう。古代から中世に時代が移り、天皇や貴族、民衆などの人々の生活はどうなっていったのだろうか。」という単元を貫く課題を設定し、鎌倉時代を多面的・多角的に捉えさせていきたい。そのためにまず、作成した資料読み取り手引きを活用し、資料から情報を読み取らせる。そして、読み取りに基づく図解を行い、個々の解釈を関連付けさせる。最後に、関連づけを基にレポートを作成させ、鎌倉時代を考察させる。このような活動を通して、歴史的事象を多面的、多角的に考察する力を育てたいと考える。

4 単元の指導計画（6時間扱い）

時	学習活動・内容	指導上の留意点（資料の活用は○）と評価（評価は◎）
1 世の学習の見直しを持つ。中	<p>1 古代（奈良・平安時代を中心に）について振り返り、特色をまとめる。</p> <p>2 小学校の歴史学習から鎌倉時代のイメージを話し合う。</p> <p>3 単元を通しての学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><単元の学習課題> 鎌倉時代は、どのような時代なのだろう。古代から中世に時代が移り、天皇や貴族、民衆などの人々の生活はどうなっていたのだろう。</p> </div>	<p>○古代に関する絵図や文書資料などを提示し既習事項を振り返れるようにする。</p> <p>・古代の時代の特色を、天皇や貴族の政治が展開されたこと（律令国家・摂関政治）や大陸からもたらされた仏教が様々な面に影響を与えたこと、身分によって生活が大きく異なっていたことなど、政治や社会、文化、外交といった面や天皇や貴族、一般の人々などの立場からまとめる。</p> <p>・生徒のイメージを基にして、単元を通しての学習課題を設定する。</p> <p>◎学習の見直しをもち、今後の追究への意欲をもっている。（関心・意欲・態度）（ワークシート）</p>
2 武士の成長を捉える。	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>武士はどのように登場し、成長していったのだろう。</p> </div> <p>2 武士が成長していった過程や武家政権が成立していく様子を捉える。</p> <p>3 資料からの読み取りに基づいて図解する。</p>	<p>○「武士の館・武芸の訓練」「白河上皇の春日社行幸」の資料から、武士は、刀や弓で武装して訓練にはげみ、領地や貴族の警備を行いながら台頭していったことを読み取れるようにする。</p> <p>◎武士の登場と成長していった過程を理解している。（知識・理解）（ワークシート）</p> <p>◎資料からの読み取りに基づいて図解している。（技能）（ワークシート）</p>
3 捉える。武士と朝廷の関係を	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>鎌倉幕府と朝廷（天皇・朝廷）は、どのような関係だったのだろう。</p> </div> <p>2 鎌倉幕府のしくみ、御恩と奉公の関係について捉える。</p> <p>3 後鳥羽上皇の北条義時追討の院旨と北条政子の演説、北条親子の会話から幕府と朝廷との関係を捉える。</p> <p>4 資料からの読み取りに基づいて図解する。</p>	<p>・鎌倉幕府は、御恩と奉公の主従関係によって成り立っていることをおさえる。</p> <p>○「後鳥羽上皇の北条泰時追討の命令」「北条政子のうったえ」の資料から幕府と朝廷の関係が読み取れるようにする。</p> <p>・承久の乱後に、西国に鎌倉幕府が勢力を広げていったことをおさえる。</p> <p>○「北条父子の会話」や「御成敗式目制定の目的を記した北条泰時の消息文」の資料からは、当時の上皇（朝廷）の権威についても気付くようにする。</p> <p>◎資料からの読み取りに基づく図解から、鎌倉幕府と朝廷の関係を多面的・多角的な視点から捉えている。（思考・判断・表現）（ワークシート）</p>
4 民衆の成長を捉える。（本時）	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>鎌倉時代の民衆は、どのような生活をしていただろう。</p> </div> <p>2 阿弖河荘の農民の訴えの資料から農民たちはなぜ、地頭を訴えたのかを考える。</p> <p>3 農作業や手工業者、定期市の様子の資料から、民衆の生活について捉える。</p> <p>4 資料からの読み取りに基づいて図解する。</p>	<p>・農民は朝廷と幕府の土地支配から、二重支配の状態であったことをおさえる。</p> <p>○「阿弖河荘の農民の訴え」から、二重支配に苦しむ中、団結して訴える力強さに気付かせたい。</p> <p>○「農作業の様子」「定期市」の資料から、農業技術や手工業、商業の発達により、生活の向上がもたらされたことをおさえ、「定期市」の資料からは、貨幣経済が進展したことをおさえる。</p> <p>◎資料からの読み取りに基づく図解から、鎌倉時代の民衆の生活の様子を多面的・多角的な視点から捉えている。（思考・判断・表現）（ワークシート）</p>
5 日本に与えた文化面と元寇が	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>鎌倉時代は、どのような文化が広がったのだろう。また、元寇は、日本にどのような影響をあたえたのだろう。</p> </div> <p>2 民衆の間に、新しい仏教が広まったことを理解する。</p> <p>3 元寇がきっかけとなって、鎌倉幕府が減んでいった過程を捉える。</p> <p>4 資料からの読み取りに基づいて図解する。</p>	<p>○新古今和歌集の資料から、武士中心の文化の中、貴族の文化も平安時代から引き継がれていることに気付かせたい。</p> <p>○「蒙古襲来絵詞」の資料から、日本軍と元軍の戦い方の違いに気付かせたい。</p> <p>・元寇後、恩賞を与えられなかったことで、武士（御家人）たちは幕府への不満を募らせていったことをおさえる。</p> <p>・後醍醐天皇が倒幕を図り、幕府が減んでいったことをおさえる。</p> <p>◎資料からの読み取りに基づく図解から、鎌倉時代の文化面と外国との関係について多面的・多角的な視点から捉えている。（思考・判断・表現）（ワークシート）</p>
6 を鎌倉時代の特色	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>鎌倉時代の特色をレポートにまとめよう。「鎌倉時代は、どのような時代なのだろう。古代から中世に時代が移り、天皇や貴族、民衆などの人々の生活はどうなっていたのだろう。」</p> </div> <p>2 図解化を基に、鎌倉時代の特色をレポートにまとめる。</p>	<p>・単元を通しての課題に対してのレポートであることを告げる。</p> <p>・古代と比較できるように、第1時に使用した古代の特色を表したキーワードを掲示する。</p> <p>◎図解化を基に、鎌倉時代の特色について、多面的・多角的に考察してレポートにまとめている。（思考・判断・表現）（レポート）</p>

5 本時の指導

(1) 目標

資料読み取り手引きを活用して文書資料や絵図資料から必要な情報を読み取り、資料から読み取ったことに基づいて図解することで、鎌倉時代の民衆の生活の様子を多面的・多角的な視点から考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。

(2) 準備・資料

ワークシート、鎌倉時代図解シート、掲示用資料、配布用資料

(3) 展開

学習活動及び内容	指導上の留意点（資料活用は○）と評価（◎）																				
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>鎌倉時代、民衆はどのような生活をしてきたのだろうか。</p> </div> <p>2 民衆の生活について複数の資料から読み取る。</p> <p>(1) 資料「農村のしくみ」「下地中分」を読み取る。</p> <p>(2) 文書資料「農民の訴え」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれが（どのような立場の人が）、だれに訴えたのだろうか。 ・何が書かれているのだろうか。 ・どのような思いで書かれたのだろうか。 <p>(3) 絵図資料「農作業の様子」「定期市」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような立場の人がいるのだろうか。 ・何をしているのだろうか。 ・どんなものが描かれているのだろうか。 ・動物にも注目しよう。 <p>3 それぞれの資料から読み取ったことに基づいて、マトリックス型の図解シートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は、「鎌倉時代は、どのような時代なのだろう。古代から中世に時代が移り、天皇や貴族、民衆などの人々の生活はどうなっていたのだろうか。」という単元の課題について、民衆の立場や社会面などから鎌倉時代を捉える時間であることを告げる。 ○資料を読み取る際には、資料読み取り手引きに従って読み取るよう指示をする。 ○農民は、朝廷と幕府の土地支配から、二重支配の状態であったことに気付かせたい。 ・グループで活動することにより、お互いの考えを交流したり、学び合ったりする場とする。 ○奈良時代の税を逃れるために逃亡する人がいたことを示す資料を提示することで、鎌倉時代の農民は団結して訴える、力強さをもっていたことに気付かせたい。 ○「農作業の様子」からは、鉄製の道具、牛が利用されるなど、農業技術の進歩により生産量が増えたことを捉えさせたい。 ○「定期市」の資料からは、様々な商品の売買が行われるようになったことをおさえ、商人の活動がさかんになったことを捉えさせる。 ・宋銭についても触れ、鎌倉時代は貨幣経済が発展していったことにも気付かせたい。 ・本時は、鎌倉時代の社会面、文化面を中心にまとめることを指示する。 																				
<p><予想される図解シートの記述></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 25%;">政治</th> <th style="width: 25%;">外交</th> <th style="width: 25%;">社会</th> <th style="width: 10%;">文化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>武士</td> <td>地方や中央で豪族や貴族を守る立場から争いごとをしずめるうちに力をつけていき、貴族にとってかわった。 御恩と奉公で武士独自の政治を目指した。</td> <td>神戸の港を整備して中国（宋）と貿易した。</td> <td>馬に乗って武芸の訓練をしたり、弓矢の練習をしていた。食事はとても質素で健康的なものを食べていた。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>朝廷（天皇 貴族）</td> <td>再び天皇中心の政治に戻そうとしたが、幕府側に敗れてしまった。 幕府にとっては政治を進める上で無視できない大切な存在であった。</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>民衆</td> <td></td> <td>定期市が開かれ、ここでは中国のお金（宋銭）が使われていた。</td> <td>幕府と朝廷の二重支配に苦しんでいたが、農業では工夫して生産量を増やしていったり、集団で地頭をうったえる勇気ある行動もあったりした。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		政治	外交	社会	文化	武士	地方や中央で豪族や貴族を守る立場から争いごとをしずめるうちに力をつけていき、貴族にとってかわった。 御恩と奉公で武士独自の政治を目指した。	神戸の港を整備して中国（宋）と貿易した。	馬に乗って武芸の訓練をしたり、弓矢の練習をしていた。食事はとても質素で健康的なものを食べていた。		朝廷（天皇 貴族）	再び天皇中心の政治に戻そうとしたが、幕府側に敗れてしまった。 幕府にとっては政治を進める上で無視できない大切な存在であった。				民衆		定期市が開かれ、ここでは中国のお金（宋銭）が使われていた。	幕府と朝廷の二重支配に苦しんでいたが、農業では工夫して生産量を増やしていったり、集団で地頭をうったえる勇気ある行動もあったりした。		<ul style="list-style-type: none"> ・図解シートにまとめる活動に戸惑っている生徒には、本時は、民衆の立場や社会面などから鎌倉時代を捉える時間であることを確認し、古代の農民は、重い税に苦しんでいたが、鎌倉時代になってどうなっただろうと助言する。 ◎資料から読み取ったことに基づいて図解することで、鎌倉時代の民衆の生活の様子を多面的・多角的な視点から考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。（思考・判断・表現）
	政治	外交	社会	文化																	
武士	地方や中央で豪族や貴族を守る立場から争いごとをしずめるうちに力をつけていき、貴族にとってかわった。 御恩と奉公で武士独自の政治を目指した。	神戸の港を整備して中国（宋）と貿易した。	馬に乗って武芸の訓練をしたり、弓矢の練習をしていた。食事はとても質素で健康的なものを食べていた。																		
朝廷（天皇 貴族）	再び天皇中心の政治に戻そうとしたが、幕府側に敗れてしまった。 幕府にとっては政治を進める上で無視できない大切な存在であった。																				
民衆		定期市が開かれ、ここでは中国のお金（宋銭）が使われていた。	幕府と朝廷の二重支配に苦しんでいたが、農業では工夫して生産量を増やしていったり、集団で地頭をうったえる勇気ある行動もあったりした。																		
<p>4 本時の学習を振り返り、次時の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉時代の文化面と外国との関係について調べることを知らせる。 																				

※ゴシック文字が本時に記述する部分である。